



2月26日（水）に名鍍会の2月度例会が開催されました。

今回は、コバルトフリーの3価クロメート処理剤について、日本表面化学株式会社様と株式会社タイホー様に製品を紹介いただきました。

従来の3価クロム化成処理剤には、コバルトが含有しており、コバルトの効果としては、クロム付着量の増加する事で皮膜強化され、耐食性向上効果が有るのと、化成皮膜にキズが付いた際、皮膜を修復していると考えられる耐キズ性向上効果が有ります。

しかし近年、欧州REACH規制によりコバルト塩が高懸念物質（SVHC）の対象になっていたり、コバルトの埋蔵量、産出量共、紛争国であるコンゴ民主共和国が世界の半分を占めている為、供給不安がある事、また電気自動車化でバッテリーにコバルトが必要な為、需要増加による価格の高騰が懸念される為、コバルトフリーの化成処理剤の開発が進んでおります。

外観、耐食性、傷付け試験後の耐食性のデータを元に、各社共コバルトフリー処理剤の特徴を説明いただき、コバルト含有の処理剤と比較しても、同等・それ以上の性能が有る結果を紹介いただきました。

Y. A.



講演：日本表面化学(株)



講演：(株)タイホー